

中期計画“GC20”の改定

2019年度を転換点とし、根本課題へ迅速に打ち手
ゴール時期を2022年度に変更

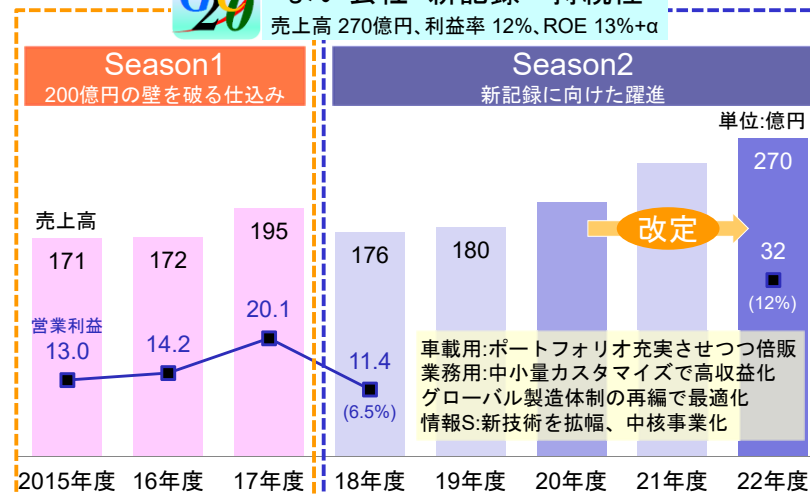


2019年5月10日
本多通信工業株式会社
代表取締役社長 佐谷 紳一郎

1.中期計画“GC20”の改定

GC20の基本方針は不変、ゴール時期を2022年度へ変更

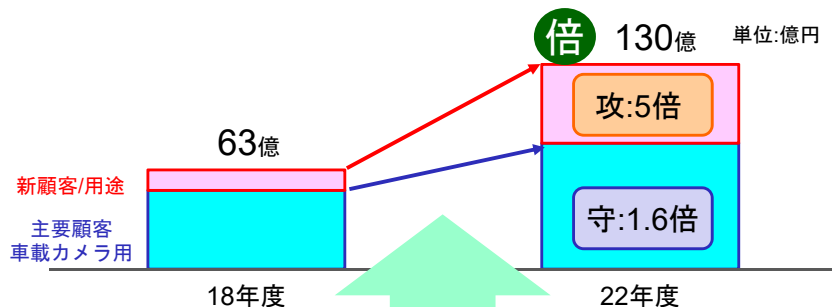
よい会社+新記録⇒持続性
売上高 270億円、利益率 12%、ROE 13%+α



車載用:ポータルフォリオ充実させつつ倍販
業務用:中小量カスタマイズで高収益化
グローバル製造体制の再編で最適化
情報S:新技術を拡幅、中核事業化

2-1.車載用コネクタ事業

ポートフォリオを充実させつつ、倍販



- 販売**
 - 攻: 専任チームを新設し、国内外の新顧客・新用途を開拓
 - 守: 進化・拡大する車載カメラへの対応、主要顧客のインスタアシア確保
- 開発**
 - 自動運転に向けたラインナップ拡充(センシング用・車内N/W用 etc.)
- 製造**
 - 倍 生産能力倍化(15M個→30M個)、コスト競争力強化、BCP対策

2-2.業務用コネクタ事業

“中小量カスタマイズの仕組み化・メニュー化※”で高収益事業へ
※HTK版マス・カスタマイゼーション



- 拡がる選択肢
 - 迅速な量産化
 - 中小量カスタマイズ 仕組み化・メニュー化
 - 長期調達可能
 - コスパUP
- 少量短納期サービス
 - コアカンピタンスの磨き上げ
 - 長期供給サービス

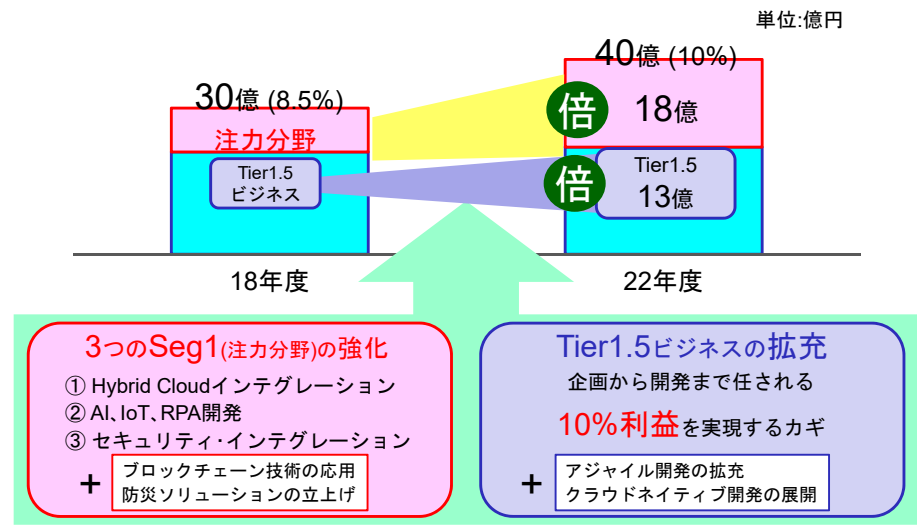
2-3. グローバル製造体制の再編

“ピンチをチャンスに”...地産地消を基本に最適化



2-4. 情報システム事業

新技術で拡幅し、中核事業化



HTK

Value by Connecting
つなぐ喜び、創る感動